

見守り 新鮮情報



©Kurosaki Gen

少しずつ ゆっくりとかんで、 餅での窒息事故を防止!

事例1

自宅で餅を食べていたところ、のどに詰まらせた。苦しがつて数分で意識を失い、救急車を呼んだ。救急隊により餅は取り除かれたが、死亡した。(80歳代)

事例2

朝食に食べた餅がのどに詰まり、反応がなくなった。家族が救急車を呼び、口の中から餅を取り出した。救急隊が到着した時は、呼吸はできていたが異物が残っていたため取り除いた。病院に到着した時には意識が回復し、他に異常がないことが確認されたため、帰宅となった。(80歳代)

ひとこと助言

周りの人も見守って!



見守るくん

高齢になると、かむ力や飲み込む力が弱くなるため、特に餅を食べる機会が増える年末年始は、以下の点に注意して窒息事故を防ぎましょう。

- 餅を食べやすい大きさに小さく切っておきましょう。
- あらかじめお茶や汁物を飲んでのどを潤しておきましょう。
- ゆっくりとよくかんで、唾液とよく混ぜ合わせてから飲み込みましょう。
- 高齢者と一緒に食事をする際は、少しずつ口に入れているか、しっかりかんでいるかなど食事の様子に注意を払い、見守りましょう。

本文イラスト：黒崎 玄

見守り新鮮情報 第501号(2024年12月12日)発行：独立行政法人国民生活センター

消費生活トラブルは、
ひとりで悩まず、相談しよう!

消費者ホットライン
188(いやや)

岩手県立県民生活センター【消費生活相談電話】019-624-2209
平日9:00~17:30、土日10:00~16:00(年末年始・祝日休み)

